

◆文献の所在検索&入手テクニック：日常業務の実例Q&A◆

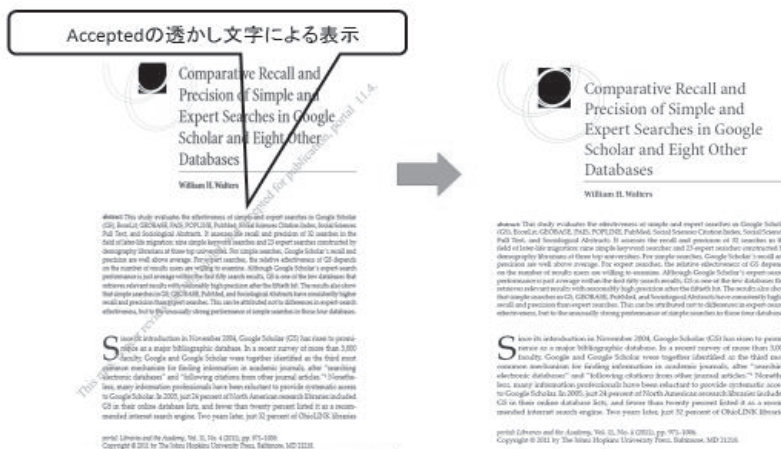
●海外文献のみかたについて

担当：天野いづみ（静岡赤十字病院）
 回答ご協力：山口直比古（聖隷佐倉市民病院図書室）
 古沢 知子（AAAS/ Science）
 岩崎 治郎（ワイリー・ジャパン）

Q1：相互償借で依頼した文献が、Accept の原稿だった場合、“不要”と回答される場合があります。相手館に文献依頼をし、複写が届く、または“Accept ですがよろしいですか？”とコメントが届いた場合に初めて accept だと現状では分かります。PubMed 上、Accept かどうかが判断することは可能ですか？

A1：PubMed で知ることのできるステータスでは、Supplied by publisher という状態の論文の中に含まれるかと思えます。ただし、「投稿中」や「受理」されました、という論文はPubMed では収録対象外になると思えます。出版社や学会のサイトで、受理された論文がEpub で公開されることもあります。このような場合には版面に透かしのように Accepted と表示されることが多いのではないのでしょうか。（山口）

出典：William H.Walters, Comparative Recall and Precision of Simple and Expert Searches in Google Scholar and Eight Other Databases, Libraries and the Academy, 2011;11(4)：971-1006.



正式に出版された時点ではAcceptedの透かし文字が取れた

図1 Accepted 論文の例

Q2：Accepted Journal 論文の信ぴょう性について判断する基準はありますか？

A2：Wiley では、査読・出版過程での論文の各バージョンを、次のような名前で呼んでいます。

1. Submitted article：最初に投稿された著者原稿で、査読による修正を受ける前の版。
2. Accepted article：査読済みで、必要な修正を受けアクセプトされた最終版の著者原稿。
3. Version of Record：Accepted article のレイアウトを整え、著者校正を経て出版された正式版（Version of Recordの中で掲載号に収録される前にオンラインで先行公開されたものがEarly View）。

研修会でもご指摘のあったように、2 から 3 になるまでの著者校正の段階で、文章の細かい言い回しや数字が著者によって変更されることがあります。しかし、この変更はスペルミスや細かいエラーの修正に留まるもので、内容の信頼性に関わるような重大な変更は起こりません（もしそのような変更が発生したら、査読のやり直しになるはずです）。ですので、2 と 3 では細かい違いがあるとはいえ、論文内容の中心的な部分では信頼性に変わりがないというのが私の考えです。それに対して、上記 1 の Submitted article は、その後の査読の過程で大幅な変更が行われる可能性がありますので、2 や 3 に比べて信頼性が低いというのは正しいと思います（Wiley が 1 を公開することはありませんが、著者が自分のホームページや機関リポジトリなどで公開することは認められています）。

ちなみに、PubMed の Article Types は、論文が原著論文か総説かシステマティックレビューか、といった文献の性質に関わるもので、上の 1~3 にあるような論文のバージョンを示すような項目は含まれていないはず。PubMed のエントリー上は、2 の Accepted article と 3 のうち Early View のどちらとも、下のように（図 2）Epub ahead of print と表記されますが、PubMed でこの項目を検索する方法はおそらくないと思います。



図 2 PubMed [Epub ahead of print]表記例

上述のように、論文の信頼性は Accepted article かどうかだけで決められないというのが私の考えですが、ではその代わりにどのような方法で判断すればよいかというと、簡単な回答は思いつきません。最終的には読者が論文を読んでそれぞれ判断することになりますが、まずは、きちんと査読を行っている真っ当なジャーナルに掲載されているか（最近、言われる predatory publisher のジャーナルではなく）というのが一つの基準です。もう一つは、特に臨床試験報告の場合ですが、コクランレビューをはじめとするシステマティックレビューに引用されていれば、引用先でエビデンスとしての質が評価されているはず。Wiley の場合、それぞれの論文の引用状況は、Cited by（図 3）および Citing Literature（図 4）から確認いただけます。ここでシステマティックレビューに引用されていることが分かれば、引用先を見ていただくのが良いと思います（あくまで引用先の著者による評価ということになります）。（岩崎）



図 3 Cited by

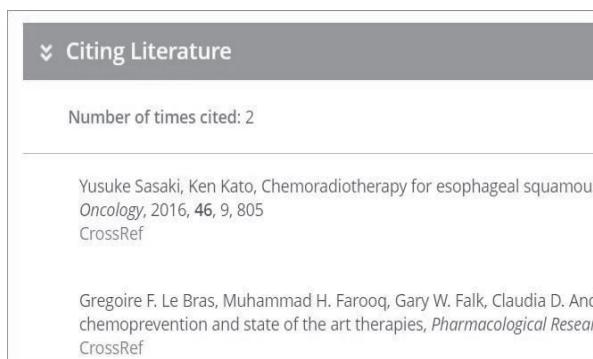


図 4 Citing Literature

Q3：Epubの状態から雑誌掲載に変わる過程でタイトル等が変更になる事があると聞きました。そのため、雑誌掲載の状態が欲しいと言われますが、内容に変化等あるものなのでしょうか。やはり、最終的な雑誌掲載の状態を提供する事が正しいのでしょうか。

A3：通常は、投稿原稿はレフェリーで書き直しを指示されますので(Q2 回答参照)、1.Submitted article と2.Accepted article では、知的内容に大きな違いは無いとはいえ、文面などはかなり修正されていると考えてよいと思います。論題も、長くて冗長であるとして修正を求められることはあると思います。しかしそれも受理される前の話でしょうね。受理された論文が最終原稿となりますが、基本的にはそれ以後の修正は無いと考えてよいと思います。ただ、版面を構成するために、図版の位置などが変更されることはありますが、それは Technical editing ですので、内容には変更はありません。ただ、著者校正が行われる場合には、字句の修正などが行われることがあるかもしれません。いずれにしろ、最終原稿からの大きな修正は無いでしょう。Epub で公開されるのは最終原稿を版面に編集したものと考えられます。電子ジャーナルがご利用いただけるのでしたら、利用者に提供する論文としては Epub ahead 論文でも大丈夫だと思います。Epub ahead から印刷体の雑誌が出版されるまでには3か月から半年くらいかかるのが普通ですので、そこまで利用者をお待たせしなくとも良いのではないのでしょうか。ただし、出版社が Epub ahead として NLM へ送り PubMed に掲載されたものでも、後に不正行為などが見つかった場合には稀に、撤回することもあるようです。(山口)

Q4：doi を使い、簡単に検索する方法はありますか？

A4：基本的には doi を付与している doi.org のサイトから調べる、ということですね。
<http://dx.doi.org/>
ここにサーチボックスがありますので、その中に doi をコピペする。(山口)

Q5：PubMed Central(PMC)で公開しているものと雑誌掲載のものは同じと考えても良いでしょうか？

A5：同じと考えてよいと思います。PMC は NLM の趣旨に賛同した出版社が Open Access 論文として公開に同意するものですから、出版社側はそれなりの準備の整ったものを提供すると思います。実際には PubMed の検索結果の詳細表示には PMC のアイコンの他に出版社のアイコンも付されるかと思いますが、どちらでも好きな方をご利用いただければよいのではないのでしょうか。もっともたどっていけば、どちらも行き着く先は一緒なのですが。(山口)

Q6：Research Gate (RG) に登録しましたが、いまいち利用方法が解りません。著者からは何も届かないし・・・このようなサイトはほかにも種類がありますか？

A6：RG は基本的には研究者コミュニケーションの場です。研究者同志の情報交換ですね。それが今や論文のセルフアーカイブの場としても利用されており、RG に参加する研究者に、昔で言えば論文の別刷りを請求する場となっているようです。ですから、RG に参加すると、よく世界中の研究者から論文の

PDF を送ってくれ、というリクエストがきます。ある意味では SNS と同じですね。私も登録していますが、論文のリクエストはよくきます。無視していますが。ということで「著者からは何も届かない」というのは無視されているということだと思います。このようなサイトは他にもあり、登録者数が最も多いといわれているのは Academia.edu といわれています。また、文献管理システムとしてスタートした Mendeley にもセルフアーカイブの機能がありますので、RG と同様に利用されているということも聞かれました。論文の PDF を、著作権法を無視して勝手に集めて公開した Sci-Hub というウクライナのサイトがあります。Elsevier 社などから訴えられていますが、結構な数の論文を集めていますので、よく利用されていたそうです。これは著作権法に違反していますので、利用者の方がご自身で自己責任で利用していただくのがよろしいと思います。(山口)

Q7 : Science translational medicine の文献で、Free と表示があり出版社ホームページにて全文を利用するためには“無料登録”と記載があり、登録しました。無料で入手できましたが、この登録の ID は継続で利用可能ですか？

A7 : AAAS (American Association for the Advancement of Science) には「Free Partial Access サービス」があり、個人がメンバー登録することで、発行から1年過ぎた1997年以降の Science のフルテキスト、一部の Science Signaling、一部の Science Translational Medicine のコンテンツへのアクセスが無料で閲覧できます。

http://www.sciencemag.org/site/subscriptions/indiv_access.xhtml

「Register for Free Partial Access

Your free registration provides access to the full text of Science research articles at least one year old and published after 1996. It provides access to some Science Signaling and Science Translational Medicine content. It also allows you to sign up for e-mail alerts. If you are accessing the Science websites through an institutional site-wide subscription, free registration will allow you to use the personalization features of the site. The Registration process involves completing a simple questionnaire, which is provided after clicking below.] Register Here (あるいは https://pubs.aaas.org/Promo/promo_setup_rd.asp?dmc=PORFB1) をクリックし、個人登録をして、Science Free Access Account を作成します。

一度 ID を取得して、何度でもご利用できます。(古沢)

Q8 : 文献相互貸借サービス (ILL) において受付の際、Accepted Journal がありますが、相手館に送付して良いのでしょうか？

A8 : Wiley の場合は、プラットフォームにアップされているものは ILL でご利用いただいて構いません。